福 議 委 号
平成 2 9 年 1 1 月 1 7 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会
委員長 川 村 明 雄

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会9月会議（平成29年9月15日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	7 行政評価（事務事業評価）について
調査期間	平成29年10月30日（1日間）
出席委員	委員長 川 村 明 雄 副委員長 木 村 隆 委員 滝 川 明 子 委員 佐 藤 孝 男 委員 平 野 隆 雄 委員 溝 部 幸 基
欠席委員	な し
委員外議員	な し
出席説明員	な し
議会事務局 職員	事務局長 阿 部 憲 一 次 長 鍋 谷 浩 行 主 査 谷 藤 悟

[委員会意見]

調査事件 7 行政評価（事務事業評価）について

（平成 29 年 10 月 30 日調査）

町では、まちづくり基本条例第 20 条第 2 項の規定に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成 28 年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例第 10 条第 2 項の規定による決算説明資料として議会に提出しています。議会のチェック機能の強化と併せて翌年度の予算へ反映させることを目的に、それぞれの事務事業について議会としての評価を実施したものであり、評価方法及び結果を次のとおり報告する。

【評価方法】

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した 4 段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としている。

【評価内容】

（1）評価結果

議会としての最終評価（41 件）及び説明は、下表のとおり。

●平成29年度 議会による行政評価（事務事業評価）結果表

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点 数 評 価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説 明
No.1 会議録調整費	5	2	A	A	A	A	◎	引き続き迅速な会議録作成を期待する。
No.2 情報公開費	5	2	A	A	A	A	◎	住民に興味を持って見てもらえるような工夫を期待する。
No.3 職員研修費	4	3	A	A	A	A	○	知識研修・待遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No.4 車両管理費	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両の利用に当っては点検管理の徹底を図られたい。
No.5 交通安全対策費	5	0	B	A	A	A	○	指導員の高齢化に対応した体制と、効果的な啓発の工夫を図られたい。
No.6 町民運動対策費 (青少年外)	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。広報紙や防災無線の活用、町内会事業の位置付けなど事業の見直しを図っては。
No.7 電子自治体推進費	4	2	A	A	A	A	○	庁内ネットワークにより労務の効率化が図られている。町民に対する情報提供の充実に向けた検討が必要。
No.8 インターネット事業費	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、インターネット利用拡大に向けた取り組みを期待する。
No.9 生活館等管理費	6	3	A	C	C	C	△	公共施設維持保全計画の基本方針に基づいた適切な判断を！
No.10 災害対策費	7	2	A	A	A	A	◎	戸別受信機の利用状況を調査のうえ、メンテナンスの継続が必要。
No.11 町内会連合会助成費	5	3	A	A	A	A	○	住民との協働の核となる大事な組織。高齢化が課題だが、他町村の取組みも調査し、行政と対等の立場で活動できる方策の検討が必要。
No.12 文書広報費	4	2	A	B	B	B	○	広報編集会議をしっかりと開催し、掲載内容を分析のうえ町民にわかりやすい広報紙発行を。
No.13 町民運動対策費 (コミュニティ)	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。広報紙や防災無線の活用、町内会事業の位置付けなど事業の見直しを図っては。
No.14 バス待合所管理費	5	3	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な環境づくりに期待する。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説 明
No.45 教育委員会費	10	3	A	A	A	A	○	今後とも、町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論を期待する。
No.46 教育関係団体・大会 参加助成費	8	4	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握のうえ、助成事務を執行されたい。
No.47 福島商業高等学校 存続対策費	7	2	A	A	A	A	○	高校と連携のうえ魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.48 友好町交流事業費	6	4	A	A	A	A	○	三市町交流事業を維持するとともに、墨田区等新たな交流の展開を検討されたい。
No.49 ALT招致費	7	5	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.50 児童生徒輸送費	9	3	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.51 就園・就学奨励援助 費	8	5	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援していくこと。
No.52 奨学金貸付費	9	4	A	A	A	A	○	国の状況を見ながら給付型奨学金の検討を進めること。
No.53 基礎学力向上支援 事業費	6	5	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No.54 教員住宅整備事業費	5	3	A	A	A	A	○	計画的な整備に努めること。
No.55 私立学校振興費	6	4	A	A	A	A	◎	幼児教育の充実が図られている。
No.56 小学校管理費	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.57 中学校管理費	10	3	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応に努められたい。
No.58 学校給食センター費	8	3	A	A	A	A	○	地元食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。
No.59 学校給食センター施設 維持管理費	7	2	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点 数 評 価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説 明
No.60 社会教育総務費	6	3	A	A	A	A	○	今後とも、町の社会教育の状況を的確に把握し、社会教育委員の活発な議論と事業展開を期待する。
No.61 読書活動費	1 1	3	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No.62 成人教育費	7	3	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.63 青年教育費	7	3	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めると共に、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.64 少年教育費	7	3	A	A	A	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど新たに事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No.65 芸術・文化費	7	3	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.66 文化財保護費	8	3	A	A	A	A	○	学芸員の活動環境を整備し、専門的な文化財保護活動を期待する。
No.67 保健体育総務費	6	3	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、スポーツ推進委員の活発な議論と事業展開を期待する。
No.68 総合体育館運営費	6	2	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No.69 町民プール運営費	7	2	A	A	A	A	○	安全対策に万全を期して管理されたい。
No.70 ファミリースポーツ公園管理費	6	3	A	A	A	A	○	利用者の増加につながるよう、初心者のための事業などのPRに一層努力されたい。
No.71 福祉センター運営費	7	2	A	A	A	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。

【来年度の評価に向けて】

- ① 現在の事務事業評価は、基本的に予算の「目」に沿って評価しているため、事務事業名の最後に「費」と入っているが、実質的には事業費だけではなく事業そのものを評価することが基本であると考えことから、事務事業の区分けについて検討が必要。
- ② 町の資料（事務事業評価シート【町長部局】）に、一部教育委員会部局の記載があるが、教育委員会部局は別に評価していることから、町長部局の資料とは分けて重複をさけた方がよい。